

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（組織）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（組織）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

TILs 超音波画像による乳がん術前化学療法の治療効果予測の検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 亀井義明 肝胆膵・乳腺外科 講師

【研究の目的】

腫瘍浸潤リンパ球(TILs: tumor infiltrating lymphocytes)は乳がんの重要な治療効果および予後予測因子であることが明らかになっています。本研究では術前化学療法前に行う TILs-US score が、術前針生検における TIL を豊富に有する乳癌 (LPBC) の評価と同等、あるいはそれ以上に術前化学療法の治療効果を予測できるかを検討します。

【研究の方法】

本研究は、診療録(カルテ)情報と乳腺超音波検査のデータおよび切除した乳癌・あるいは生検組織の乳癌を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、乳腺濃度、乳腺腫瘍の位置と大きさ、乳腺腫瘍の病理組織像、乳腺画像、特に乳腺超音波検査上の大きさや形状などの所見および病理学的な大きさや形状などの所見です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)

各機関において、カルテや生検組織から氏名などの個人が特定できる情報を削除します。誰のものか分からないよう加工したデータはパスワード付きの記録媒体に保存し、生検組織とあわせて代表機関である広島大学に郵送します。広島大学において、診療情報と生検組織から測定した値をデータベースに登録し、共同研究機関間で共有して共同で解析を実施します。他施設より収集した生検組織は解析終了後乳腺外科にて適切に廃棄します。当院の生検組織は病理診断科

で引き続き保管します。データベースに登録した情報は研究期間終了後も保管させていただきます、現時点では特定されていない将来新たに計画・実施される研究に使用させていただく可能性があります。その場合は、改めて倫理審査を受け承認を得た上で使用させていただきます

【共同研究について】

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報を結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

広島大学病院 乳腺外科 職名 講師 氏名 角舎 学行

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

村上朱里 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科

〒791-0295

愛媛県東温市志津川 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科

TEL 089-960-5327 FAX 089-960-5329